

ボランティア・市民活動フェスタ 2017 in 佐倉 体験コーナー報告

笑顔をとどけよう



秋晴れの穏やかな天気が一転して昼頃には強風が吹き荒れるなか、佐倉市立中央公民館と北側駐車場でフェスタが開催されました（※駐車場のイベントは強風のため14時まで）。今年のV連の体験コーナーは、佐倉市障がい者団体等連絡会〔テーマ：障害者差別解消法・差別をなくしましょう！〕と一緒に『ユニバーサルワールド』というキャッチフレーズで行いました。バルーンアートのボランティアの方の応援もいただき、楽しい雰囲気の中、体験コーナーが始まりました。

日時：2017年11月26日（日）10時～15時

会場：佐倉市立中央公民館1階 ラウンジ

体験コーナー参加者：約240名

（男性73名、女性80名、男児42名、女児44名、妖1）

スタッフ・協力をいただいた方：計15名

（根郷地区社協 7名、V連役員等 8名）

ユニバーサルワールド

- ◆車いす体験
- ◆お年より体験
- ◆ユニバーサルデザインの紹介

日頃生活をしていく上での困り事や不便さを知り、困っている方にさりげなく声をかけられる人が、一人でも増えることを願って、3つのコーナーを設けました。

また体験後、付箋にひとこと感想を書いていただき、参加者みなさんの気づきがわかるように、ボードに貼り出しました。最終的に付箋71（内訳 車いす36、お年より3、障がい7、ユニバーサル7、風船3、不明7、かわいい落書き8）枚のひとこと感想があつまりました。

今年は「体験が一番のお土産」ということで配布物は無しとしました。

車いす体験

目的

- ・車いすのひろげ方、たたみ方をマスターする。
- ・車いすの乗り方・降り方をマスターする。
- ・車いすを自走するときの操作の大変さや、困ったときに声かけする難しさを体験する。
- ・車いすを介助するとき、声掛けの大切さを知る。



体験概要 車いすのひろげ方・たたみ方を確認した後、正面玄関から外に出て保育園通用門前で折り返して戻ってくる。車いす4台（うち1台は小型）。V連役員2名、根郷地区社協3名で対応。

参加者の感想など

- ・車いす体験をしたのは8割が小学生で、疲れた・坂が大変だったというコメントが多かったなか、「くだりもスピードがすぎてしまいました。」「まわりの人達の協力が必要なことわかりました。」といった気づきもありました。種類の違う4台の車いす全部を体験した小学生が3人、そのうち1人は5回も体験コースで試乗するなど、心に深く残る体験をしてもらったのが嬉しかったです。

お年より体験



目的

指先が不自由になり、視野が狭くなることで不便になる事を知る。

体験概要 視野狭窄ゴーグルと軍手をはめる。

- ① 広告から特売品情報などを探す。
- ② 申請用紙に名前を書き込む

参加者の感想から

- ◆白内障の体験が良かった。
- ◆年よりで、不自由なことがたくさんある人は、たくさん工夫していて、凄いと思いました。（小学生）
- ◆お年寄りのもどかしいくらいにゆっくりした動作には「見えにくい」「指がつかいにくい」などに由来することが体感できました。



ユニバーサルデザインの紹介

目的

ユニバーサルデザインの用語の意味、考え方を理解する。
物、建物、街づくり等あらゆる分野でユニバーサルデザインが
取り入れられていることを知る。

体験概要

ユニバーサルデザインなどの道具の工夫を見つけて

参加者の感想から

- ◆便利グッズを見せて下さって感心しました。
- ◆牛乳の印 初めて知りました
- ◆ペットボトルがつかみやすい工夫があったり牛乳である印があったり日常生活の中に年とっても普通にできる実
感しました。
- ◆シャンプー、リンス、ボトル ためになりました。お話良かったです。



ユニバーサルデザイン 展示物

- 履きやすい長靴
- 爪切り（軽い力で切れる。台に置いたまま爪が切れる）
- 靴のかかとにあらかじめ装着して使う靴ペラ
- 長い柄の先に磁石がついた靴ペラ
- 曲げて使えるスプーン・フォーク
- 黒色のまな板（弱視の方が見やすい）
- ビールの缶（点字付き）
- くぼみのついたペットボトル
- ビン飲料（点字付き）
- キャップオープナー
- マイアプリキャップ
- シャンプー・リンス・ボディソープの容器
- 紙パックの牛乳（他の飲料と区別できるようになっている）
- セロテープ（軽い力で切れる）

アルコールが入っている
飲料は、点字でおさけと
表記されています。



使いやすい角度
に調節できる



ペットボトルやプルトップ
の缶も開けやすい。
携帯にも便利。

これらの商品は、Loft、インターネ
ット通販等で購入できます。

体験コーナーを開催して

体験コーナーはV 連役員のほか、根郷地区社協の皆様のご協力で開催することができました。

車いす体験は、ほとんどの参加者が車いすのハンドリムにやっと手が届く体の小さな小学生で、大人でも大変な坂道を懸命に上がって大人以上の大変さを味わっていました。車いすの大きさやハンドリムの形状の違いで使い勝手が違うことも体験していただけたのは良かったけれど、来年は、もう少し小さな車いすも用意してあげられたらなと思いました。今年はバルーンアートを部屋の奥に設置したので、V 連のブースに入ってくださった方は、ユニバーサルデザインや障がい者団体等連絡協議会のブースも昨年以上にしっかり見て下さったように見受けました。「ほくは、話を聞いて改めて差別することなく普段生活することがとても大切なことがわかりました。」と嬉しい感想もいただいています。

紙芝居も好評でした。お年寄り体験は、微妙な年齢の方に『お年寄り体験してみませんか?』と声掛けて気まづくなったのでコーナー名は変えたほうが良さそうですが、来年も続けたいです。(K)